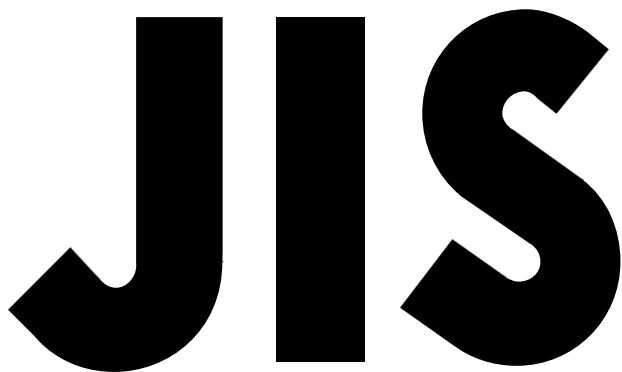




CBR 試験方法

JIS A 1211 : 2020

(JGS)

令和 2 年 3 月 25 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宇 治 公 隆	首都大学東京
(委員)	綾 野 克 紀	公益社団法人日本コンクリート工学会 (岡山大学)
	石 田 知 子	株式会社大林組
	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	木 幡 行 宏	室蘭工業大学
	鈴 木 澄 江	一般財団法人建材試験センター
	高 橋 俊 之	一般社団法人セメント協会
	野 口 貴 文	一般社団法人日本建築学会 (東京大学)
	原 田 修 輔	全国生コンクリート工業組合連合会
	久 田 真	東北大学
	前 田 敏 也	一般社団法人日本建設業連合会 (清水建設株式会社)
	柳 田 直	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (株式会社日東)
	吉 田 敬	公益社団法人地盤工学会 (応用地質株式会社)
	渡 辺 博 志	国立研究開発法人土木研究所

主 務 大 臣：国土交通大臣 制定：昭和 28.7.28 改正：令和 2.3.25

官 報 掲 載 日：令和 2.3.25

原 案 作 成 者：公益社団法人地盤工学会

(〒112-0011 東京都文京区千石 4-38-2 TEL 03-3946-8677)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 宇治 公隆)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、国土交通省住宅局 住宅生産課 [〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 試験方法の種類	2
5 試験装置及び器具	2
5.1 締め固めた土の CBR 試験装置及び器具	2
5.2 乱さない土の CBR 試験装置及び器具	4
6 試料	5
7 供試体の作製方法	5
7.1 締め固めた土の供試体の作製方法	5
7.2 乱さない土の供試体の作製方法	6
8 試験方法	6
8.1 吸水膨張試験	6
8.2 貫入試験	7
9 計算	7
10 報告	9
附属書 A（参考）技術上重要な改正に関する新旧対照表	11
解 説	13

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人地盤工学会（JGS）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、国土交通大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 1211:2009** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。国土交通大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

CBR 試験方法

Test methods for the California Bearing Ratio (CBR) of soils in laboratory

序文

この規格は、1953 年に制定され、その後 8 回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は 2009 年に行われたが、その後 **JIS Z 8401** に基づく表記、及び **JIS A 0207** に基づく表記、用語の変更などに対応するために改正した。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。また、技術上重要な改正に関する旧規格との対照を附属書 A に記載する。

1 適用範囲

この規格は、モールド内に締め固めた土の供試体及びモールド内に採取した乱さない土の供試体の CBR を求める方法について規定する。ただし、モールド内に締め突き固めた供試体の CBR 試験の場合は、目開き 37.5 mm のふるいを通過した土を対象とする。

なお、この規格は、安定処理した土にも適用できる。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS A 0207** 地盤工学用語
- JIS A 1201** 地盤材料試験のための乱した土の試料調製方法
- JIS A 1203** 土の含水比試験方法
- JIS A 1210** 突固めによる土の締固め試験方法
- JIS B 7503** ダイアルゲージ
- JIS P 3801** ろ紙（化学分析用）
- JIS Z 8401** 数値の丸め方
- JIS Z 8801-1** 試験用ふるい—第 1 部：金属製網ふるい

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS A 0207** によるほか、次による。

3.1

ブルーピングリング

圧縮力又は引張力の大きさをリングの変形量から測定する荷重計。